

情報提供日：令和5年1月19日

龍ヶ崎にも火消しがいた！消防道具や初公開の古文書を紹介 収蔵品展「むかしの消防」を開催します(1/21～2/26)

龍ヶ崎市教育委員会では、収蔵品展「むかしの消防」を令和5年1月21日(土)から2月26日(日)まで龍ヶ崎市歴史民俗資料館で開催しますので、お知らせします。

本展では、江戸時代から昭和期にかけての龍ヶ崎で消防に関わった人々が実際に使用していた消防道具や、各組の特徴ある火消し装束「印半纏(しるしばんてん)」など40点の収蔵品を展示。

さらに、龍ヶ崎の町火消についての記述がみられる江戸時代の古文書資料を初公開します。火消しに奮闘した龍ヶ崎の人々の姿が思い起こされます。



1月26日は「文化財防火デー」であることから、広く来館者に本市の防災の歴史に関心を持っていただき、日頃の防災意識向上の一助となればと考えています。

報道機関の皆さまにおかれましては、本展の周知にご協力賜りますよう、お願いいたします。

■龍ヶ崎市消防団の変遷

享保5年(1720年)、江戸に町火消「いろは48組」が編成されると、各地で火消し組織が結成されました。龍ヶ崎では弘化2年(1845)に、それまでの各町火消し集団が「いろはにほへとちり」の9組で構成される「消防組」に編成されます。明治22年(1889年)の市制・町村制で「龍ヶ崎町消防組」となり、「い組(根町)」は「一部」、「ろ組(田町)」が「二部」、「は組(横町)」が「三部」などと改称され、現在の龍ヶ崎市消防団へ引き継がれています。

■日 時	令和5年1月21日(土)～2月26日(日) 午前9時から午後5時まで ※月曜日休館
■場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 企画展示室(所在地：龍ヶ崎市馴馬町2488番地)
■主 催	龍ヶ崎市教育委員会
■その他	入場無料／事前申込不要
■資 料	イベントチラシ

担当課

龍ヶ崎市 教育委員会 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ
担当者：油原(ゆはら)・伊藤(いとう)
連絡先：龍ヶ崎市歴史民俗資料館 0297-64-6227(直通)